

ほかんけんだより

Vol.4 2014年7月

環境科学課でセアカゴケグモの生態調査を実施中

セアカゴケグモは特定外来生物に指定されているため飼育・運搬することは原則禁止されています。

環境科学課では、セアカゴケグモの効果的な駆除方法や生態を明らかにするために環境省から許可を得て飼育しています。



飼育許可証

生態調査で分かったこと

① 活動時期

春から秋です。冬場はほとんど活動しません。

② 産卵

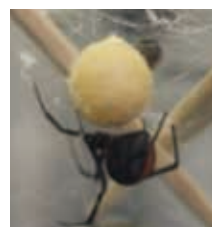
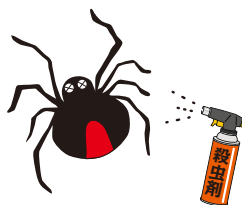
5月頃から産卵を開始します。条件が良いと1週間に1個の卵のうを作り、産卵して20日程度で1個の卵のうから100匹前後の子グモが出てきます。

③ 餌

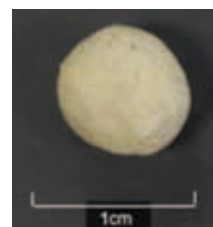
ダンゴムシ、ハサミムシ及びゴミムシなどを捕食します。

④ 駆除方法

市販の殺虫剤で処分できます。卵のうについては、卵のうへの効果が記載されている殺虫剤を使用すると卵のうから子グモが出てこないことを確認しています。



メスと卵のう



卵のう



卵のうから出た子グモ



割りばしの上の子グモ

⚠ セアカゴケグモにご注意ください ⚠

セアカゴケグモ(メス)

体長は約1cmで、全体的に黒く、メスは背中とお腹に赤い模様があります。



セアカゴケグモのメス

セアカゴケグモのいる場所

側溝のふたの裏やベンチの下、フェンス、階段の隅、放置木材の側面などに巣を張っています。



側溝のフタ(グレーチング)の下



側溝の巣と卵のう



熱中症予防のための 調査を始めました



今年は5月から晴れて気温が高い日が多く、熱中症のニュースが流れていました。熱中症の主な症状は、頭痛、めまい、吐き気、体のだるさなどですが、重症化すると意識がなくなり、死に至ることもあります。

熱中症の原因は为什么呢？実は気温だけでなく、湿度が高いこと、風が弱いこと、体調が悪いことなどがあげられます。気温が急に上がると、体が慣れずに具合が悪くなります。また、湿度が高いと汗が蒸発しにくくなり、体から熱が逃げなくなるため、熱中症になりやすくなります。特に、乳幼児や高齢者は注意が必要です。

さらに気をつけなくてはならないのは、輻射熱(ふくしゃねつ)^{※1}の影響です。地面の近くや建物のそばでは輻射熱の影響で、周囲よりも気温が高くなります。

そこで、気温、湿度及び輻射熱を考慮して、熱中症の危険度を判断する『暑さ指数(WBGT)^{※2}』という指標が作られています。このWBGT(℃)が、高いほど熱中症の危険性は高くなります。熱さ指数(WBGT)を算出するためには、乾球温度計、湿球温度計、黒球温度計が必要です。(写真参照)

保健環境研究所では、7月から「①ひなた ②日かげ ③室内」のWBGTの違いを測定し、「まもる一む福岡」でリアルタイムに表示しています。

今後は、天候や気温と室内でのWBGTの関係などを調査・研究し、熱中症の予防に役立てていく予定です。熱中症の予防のためには①こまめに水分と塩分を取る、②涼しい服装や帽子を活用する、③温度管理を上手にする(エアコンなどの活用)、そして④体調の管理を心がけることが大切です。

少しでも、体に異変を感じたら、涼しい場所で水分を補給し、気分がよくなるまで休息しましょう。

(福岡市の熱中症情報:<http://heatstroke.city.fukuoka.lg.jp/wbgt/>)

※1 輻射熱:放射熱。物体から放射される熱線・可視光線などの放射線が物体に吸収されて生じる熱。

※2 WBGT:Wet Bulb Globe Tempの略

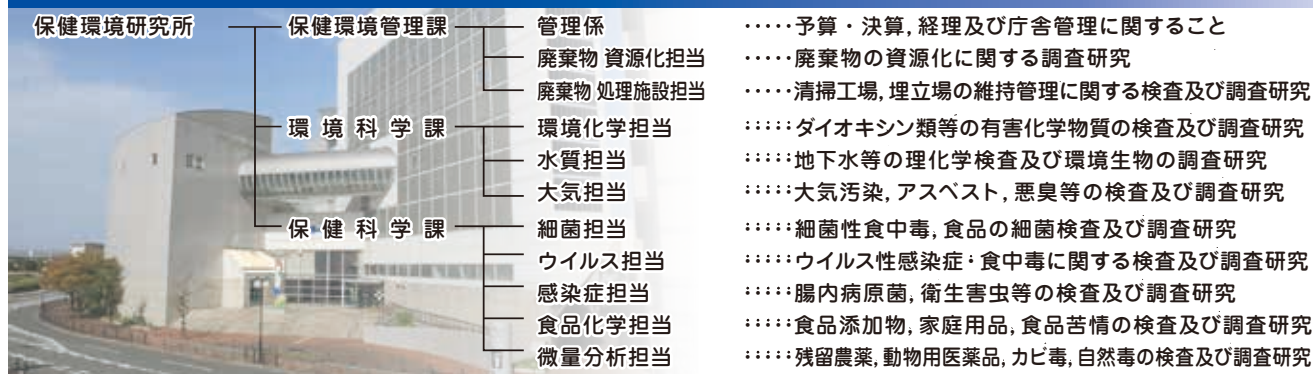
暑さ指数 (WBGT)	31℃以上 危険	28～30℃ 嚴重警戒	25～28℃ 警戒	21～25℃ 注意	21℃未満 (ほぼ安全)
日常生活での熱中症 予防のための指針	高齢者においては 安静状態でも発生する 危険性が高い。 外出はなるべく避け、 涼しい室内に移動する。	外出時は炎天下を避け、 室内では室温の上昇に 注意する。	運動や激しい作業を する際は定期的に充分 に休息を取り入れる。	一般に危険性は少ないが、激しい運動や 重労働時には発生する危険性がある。	

(参考)日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.3」(2013),
日本体育協会「熱中症予防のための運動指針」(1994)



まもる一む福岡で暑さ指数測定中

■ 保健環境研究所組織図と業務内容



編集・発行 福岡市保健環境研究所

〒810-0065 福岡市中央区地行浜2丁目1-34
TEL: 092-831-0660 FAX: 092-831-0726
E-mail: hokanken.EB@city.fukuoka.lg.jp
URL: <http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/hokanken/>

廃棄物資源化担当及び 廃棄物処理施設担当の事務所

〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭4丁目13-42
TEL 092-642-4570 FAX 092-642-4595